

令和4年度 京都府建設工事総合評価競争入札委員会（第4回）議事概要

開催日時及び場所	令和4年9月2日（金） 午後2時～午後4時 ホテル ルビノ京都堀川 ひえいの間	
出席委員氏名（職業）	委員長 谷口 栄一（京都大学名誉教授） 委員 今井 祐三（近畿地方整備局京都国道事務所副所長） 委員 武田 字浦（国立明石工業高等専門学校准教授）	
議 事 概 要	<p>1 開会 [あいさつ（能勢 総務部副部長）]</p> <p>2 議事</p> <p>（1）令和3年度総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性化型）の試行状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性化型）の試行状況等について意見を聴取 <p>（2）総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性化型）落札者決定基準の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性化型）落札者決定基準の改正について意見を聴取 <p>（3）令和3年度抽出事案報告について [非公開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度における総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性化型）試行案件のうち3件を抽出し、実施状況を報告 	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別紙

2 議事

(1) 令和3年度総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性型）の試行状況等について

意見・質問	回答等
<p>◇ 舗装工事のくじ発生率が89.4%と高い状況。様々取組を行っている中で改善の兆しはあるか。</p>	<p>◇ 舗装工事においては、評価点の高い業者が参加し、また、積算能力等の向上により、各社低入札調査価格に張り付いている状況。新評価方式を取り入れることでR3年度は28件中5件くじを回避した。また、くじ参加者も減少しており、効果としては現れている。</p>
<p>◇ 効果は出ているとのことであるが、さらにやり方を変える必要があるのではないか。</p>	<p>◇ 舗装工事のくじ率高止まりについては、高得点を持つ技術者が非専任工事を一人で何件も落札できることがくじ発生に繋がっているため、8月から技術者の従事件数に応じて減点する方式に変更したので、今後効果が出るものと思われる。</p>
<p>◇ 資料裏面の全工事成績点のグラフにおいて、60点以下の案件が3件あるが縦軸数値の関係で表示されていない。 今後、同様の場合は数値等で視認できるように表示されたい。</p>	

(2) 総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性型）落札者決定基準の改正について

意見・質問	回答等
<p>◇ 生産性向上への取組みの「4つの活用項目」について、現状（の工事監理する中で）あまり取り組まれていない項目と捉えたらよいか。</p>	<p>◇ ①の情報共有システムについては昨年度から試行しており、一定数の実績が上がってきている。営繕工事特有の事由として本庁において府内全域を一極集中管理する中、移動距離と業者の待機時間を考えると上手く機能しており、②～④を併せてより一層の推進を図ることを目的としている。</p>
<p>◇ 生産性向上への取組みの「4つの活用項目」について、ICT技術の発展に伴い、活用項目の見直しは適時行われるのか。</p>	<p>◇ 業界において活用が広く一般的になった項目については、適時項目の見直しが必要であると考えている。</p>

◇ 「若手・女性チャレンジ」の開札結果概要に（3件）とあるが、若手と女性の内訳はどうか。女性技術者を配置した案件はあるか。

◇ 「若手・女性技術者配置型」の新設に際し、営繕工事における女性技術者配置の見込みはあるか。

◇ 働き方改革への取組みの「週休2日工事」について、（土木工事に比べると）執務並行改修工事は特に、土日を週休日とすることが取組みとして厳しい内容になるのではないか。

また、週休日の考え方は「現場閉所」が前提となるのか。

◇ 同「週休2日工事」の考え方として、土日を対象とした「完全週休2日工事」を採用する自治体もあると聞くが、今回の取組み内容は如何か。

◇ 3件の全てが若手技術者によるもので、女性技術者の配置はない。

◇ 工事現場に女性技術者を配し、熟練技術者がサポートに回っている工事現場を見かけることもあり、今回の改正が後押しとなることを期待している。

◇ 国営繕に準じた考え方を検討しており、週休日は土日に限定するものではない。施設管理者との調整により、土日作業が必要となる場合は平日を振替えとする等、実施工程表を作成する中で調整していくこととなる。

また、営繕工事の場合は建築工事と建築設備工事に分離発注する場合があります、この場合、「現場閉所」の他に工事発注単位で現場作業を実施しない「現場休息」の考え方があり、工事発注単位での週休2日の適用が可能となる。

令和4年度第4回京都府総合評価競争入札委員会次第

日 時 令和4年9月2日（金）

午後2時～4時

場 所 ルビノ京都堀川 比叡の間

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 令和3年度総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性型）の試行状況等について

(2) 総合評価競争入札（技術重視型及び地域活性型）落札者決定基準の改正について
（営繕課）

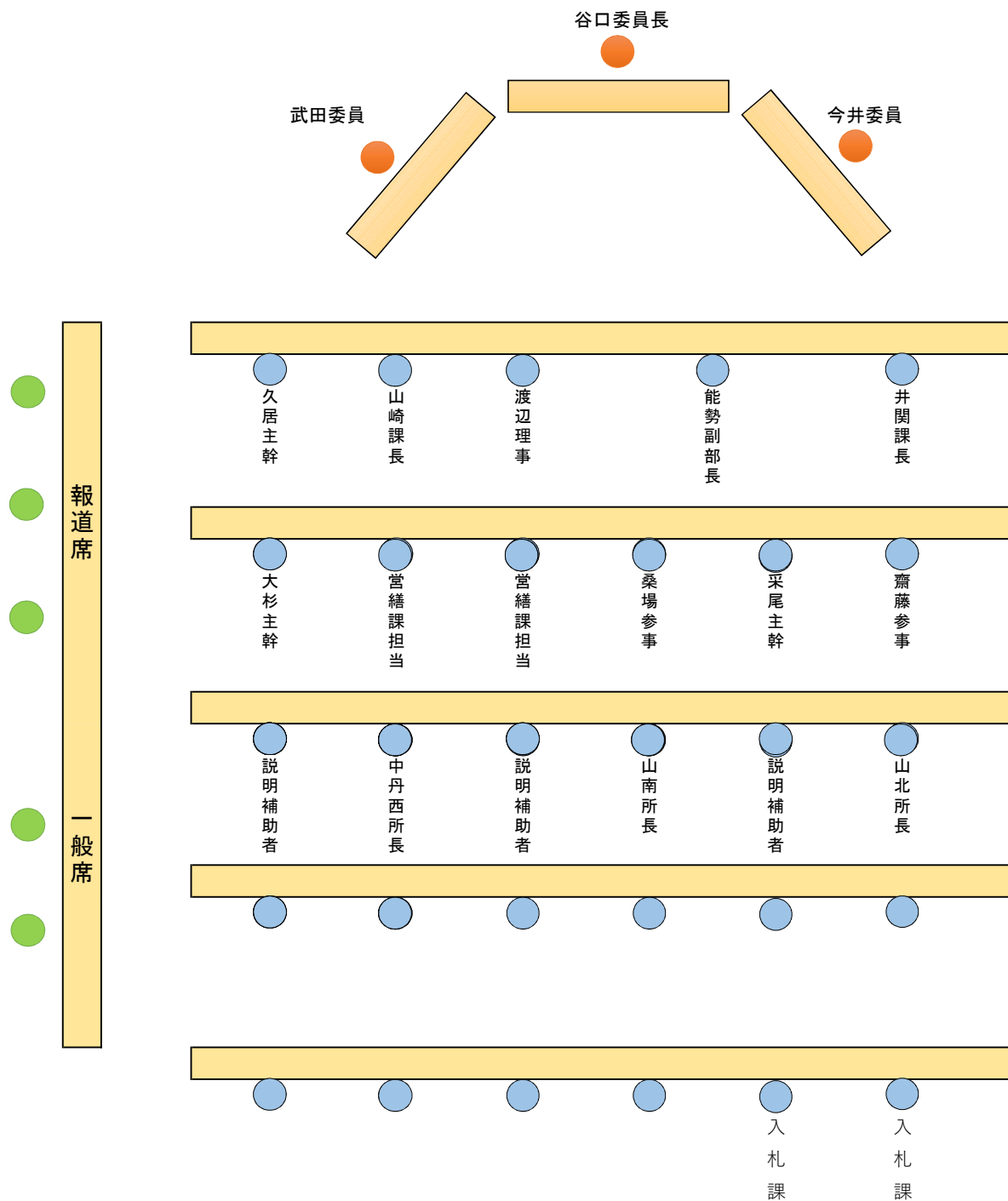
(3) 令和3年度抽出事案報告について

4 閉 会

令和4年度第4回京都府建設工事総合評価競争入札委員会 座席図

日時：令和4年9月2日

場所：ホテルルビノ京都堀川
比叡の間



「京都府建設工事総合評価競争入札委員会」委員名簿

令和4年4月1日現在(敬称略、五十音順)

役職	氏名	所属等	任期
委員長	たにぐち えいいち 谷口 栄一	京都大学名誉教授	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日
委員	いまい ゆうぞう 今井 祐三	国土交通省近畿地方整備局 京都国道事務所 副所長	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日
	たけだ なほ 武田 字浦	国立明石工業高等専門学校 准教授	令和4年4月1日 ～令和6年3月31日

令和3年度総合評価競争入札の試行状況等について

1 技術重視型及び地域活性化型

(落札決定日基準)

◆開札結果概要

下段():R2年度

対象工事	分類	件数	平均参加者	平均落札率	逆転件数 [割合]	くじ発生件数 [割合]
土木一式	技術重視型	16 (24)	4.4 (4.3)	89.9% (90.6%)	2 [12.5%] (2) [8.3%]	4 [25.0%] (1) [4.2%]
	地域活性化型A(I)	118 (115)	6.6 (5.5)	89.4% (89.8%)	17 [14.4%] (20) [17.4%]	38 [32.2%] (27) [23.5%]
	地域活性化型A(II)	4 (10)	7.3 (5.1)	88.3% (88.7%)	0 [0.0%] (1) [10.0%]	1 [25.0%] (1) [10.0%]
	地域活性化型B(III)	0			0	0
舗装	技術重視型	0 (0)			0 (0)	0 (0)
	地域活性化型	47 (38)	6.2 (5.5)	87.2% (87.4%)	0 [0.0%] (0) [0.0%]	42 [89.4%] (20) [52.6%]
建築一式	技術重視型	0 (0)			0 (0)	0 (0)
	地域活性化型A	0 (0)			0 (0)	0 (0)
	地域活性化型B	0 (0)			0 (0)	0 (0)
建築設備	地域活性化型(設備)	4 (3)	8.8 (14.3)	91.1% (91.1%)	1 [25.0%] (2) [66.7%]	0 [0.0%] (0) [0.0%]
合計		189 (190)	6.4 (5.5)	88.9% (89.4%)	20 [10.6%] (25) [13.2%]	85 [45.0%] (49) [25.8%]
参考 京都府全体(※1)		1139 (1086)	15.1 (13.6)	89.2% (89.5%)	- - - -	710 [62.3%] (607) [55.9%]

※1 予定価格250万円以上の競争入札案件 契約日基準

※開札結果概要のうち新評価型式数

評価型式		若手・女性 チャレンジ	受注機会 促進	発注者指 定工事評 価	週休2日 工事促進	ICT活用 工事促進	企業チャ レンジ	企業チャ レンジ2	計
土木 一式	地域活性化型A(I)	3	7	0	7	1	1	3	22
	地域活性化型A(II)	0	0	0	1	0	0	1	2
舗装	地域活性化型	0	1	0	24	3	0	0	28
計		3	8	0	32	4	1	4	52

◆逆転数内訳

下段():R2年度 単位:件

		評価点順位				計	逆転計
		1位	2位	3位以下	計		
入札額順位	1位	166 (161)	1 (3)	2 (1)	169 (165)	20 (25)	
	2位	6 (4)	0 (0)	0 (0)	6 (4)		
	3位	2 (9)	0 (0)	0 (0)	2 (9)		
	4位以下	12 (12)	0 (0)	0 (0)	12 (12)		
計		186 (186)	1 (3)	2 (1)	189 (190)		

◆逆転状況

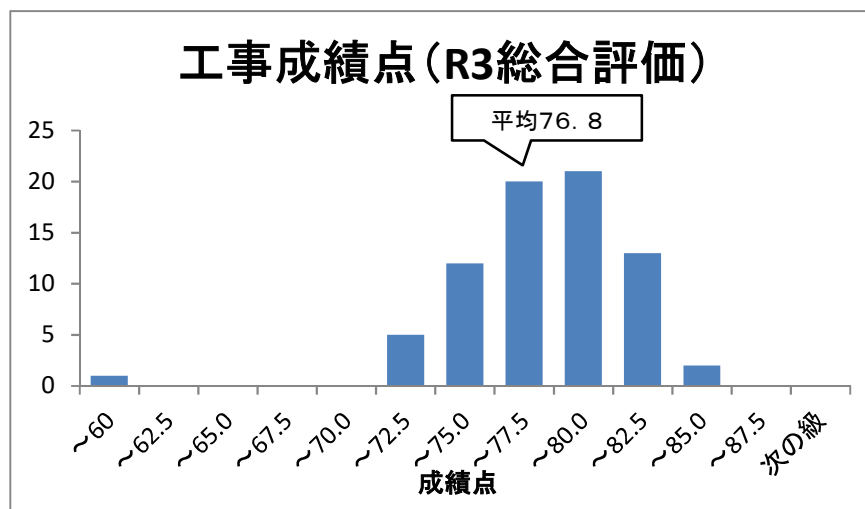
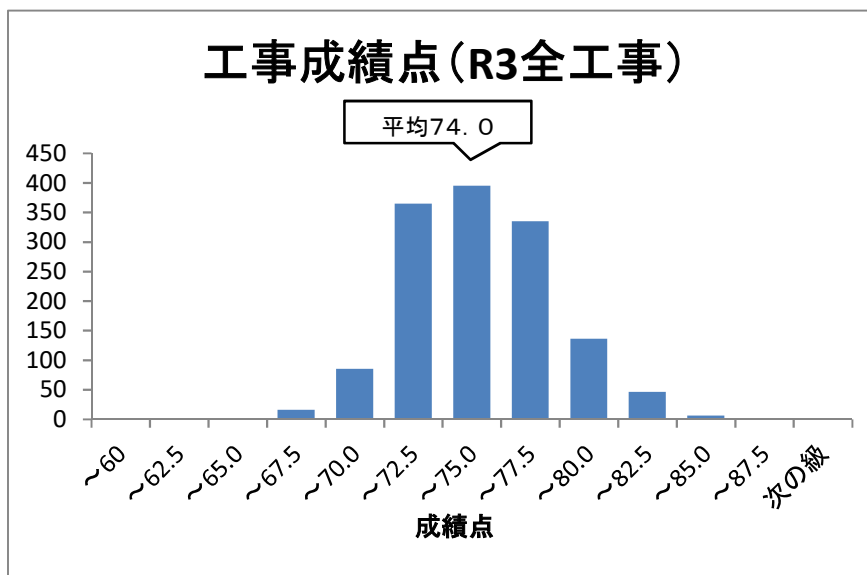
	逆転件数	平均逆転率(%) (逆転額/予定価格)	最大逆転額(千円)
R3年度	20	0.07%	287
R2年度	25	0.14%	435

◆ 履行状況

	対象件数	完了件数	工事成績点平均	全工事成績点平均
令和3年度	189	74	76.8	74.0
令和2年度	190	188	77.1	74.3

※各年度の全工事成績点平均は、4月～3月検査分の平均

※総合評価の完了件数は、R4.3末時点



2 標準型

工事名	参加者数	落札率
宇治木屋線(犬打峠)道路新設改良工事(犬打峠トンネル(仮称)(和東工区))	10	92.0%

総合評価競争入札委員会

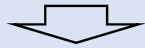
総合評価競争入札 落札者決定基準の改正について

令和4年9月
営繕課

京都府が求める建設企業像

【背景】

◇新・担い手3法の制定(R1.6) 「働き方改革の推進」、「生産性向上への取組」



◇公契約大綱の改正(R2.7) 「適切な工期設定」、「情報通信技術の活用」



【求める企業像】

- 技術と経営に優れ、京都の建設業をリードする企業
- 将来に向けて、成長・発展に意欲を持って取組む企業
- 適正な元請下請関係を構築するとともに、建設工事従事者の処遇改善に努め、働き方改革及び生産性向上の取組みを実践する企業

総合評価制度の課題

【課題】

◇営繕工事では平成22年度から総合評価入札方式を導入してきたが、評価項目が少ないため「多様な要素を考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約」を行うことが難しくなっている

◇建設業の長時間労働の是正や処遇改善及び担い手不足に対し、働き方改革や生産性向上につながる取組みを促進し、建設業界の後押しすることが必要

改正内容

京都府が求める建設企業像の実現や総合評価制度の課題解消のため、『総合評価競争入札方式』における新たな型及び評価項目の追加を行う。

【新たな型の追加】

■若手・女性技術者配置型の追加

■若手・女性技術者の配置の評価

【新たな評価項目の追加】

働き方改革・生産性向上に関する項目等の追加

- 企業の施工能力の評価
- 働き方改革(週休2日工事)の取組・実績の評価
- 生産性向上(情報通信技術)の取組・実績の評価
- 地域調達・雇用(CCUSの登録及び活用)の評価

落札者決定基準の改正項目一覧表

評価項目		加算点	建築一式				電気、管		
			技術重視型	地域活性型A	地域活性型B	若手・女性	技術重視型	地域活性型	若手・女性
施工計画	品質管理	2	○	-	-	-	○	-	-
	施工管理・安全管理等	2(4)	○	○	-	-	△	○	-
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者又は主任技術者としての最高評点	1	○	○	-	-	○	○	-
	所有する国家資格	1	-	-	-	△	-	-	△
	若手又は女性技術者の配置	1	-	-	-	○	-	-	○
	技術者の継続教育(CPD)	0.5	○	○	○	-	○	○	-
技能士(複数)又は基幹技能者の活用		1	○	○	○	○	○	○	○
企業の施工能力	京都府発注で同種・同規模工事の企業としての施工実績	0.5	△	△	△	△	△	△	△
	京都府発注で同種・同規模工事の企業としての最高評点	0.5	-	-	△	△	-	-	△
表彰	京都府地域づくり優良工事施工者表彰	1	○	○	○	○	○	○	○
働き方改革への取組み 取組又は実績のどちらか を選択	週休2日工事の取組	1	△	△	△	△	△	△	△
	週休2日工事の実績	1	△	△	△	△	△	△	△
生産性向上への取組み 取組又は実績のどちらか を選択	情報通信技術の取組	1	△	△	△	△	△	△	△
	情報通信技術の実績	1	△	△	△	△	△	△	△
地域調達 ・雇用	府内企業の下請	3	○	○	○	○	○	○	○
	府内企業の下請けの状況		○	○	○	○	○	○	○
	府内資材調達	1	○	○	○	○	○	○	○
	雇用	「技術職員数」の維持	0.5	○	○	○	○	○	○
各業種毎に雇用している「技術職員数」		0.5	○	○	○	○	○	○	○
CCUSの活用	CCUSへの事業者登録及び活用	1	△	△	△	△	△	△	△
加算点満点計 ※ただし、上限は15点とする			18(※)	14	12.5	13	18	14	13
加算点満点計(参考)(必須項目のみの満点) ※下限8点			10.5	10.5	8.5	8	10.5	10.5	8

今回追加する型

今回追加する項目(R4.11~)

今回追加する項目(R5.11~)

凡例
○ 必須
△ 選択
- 非適用

若手・女性技術者配置型（新たな型の追加）

【目的】

施工の経験や実績の少ない「若手・女性技術者」を積極的に登用することで、将来の担い手を育成する。

【評価項目（新規）】

配置予定技術者	加算点
35歳以下の技術者を配置	1.0点
36歳以上40歳以下の男性技術者又は女性技術者を配置	0.5点
上記以外の技術者を配置	0点

【実施時期】

令和4年11月から

企業の施工能力1（施工実績）（新たな評価項目の追加）

【目的】

同種・同規模の施工実績を有する企業が工事内容の知識・経験を活用することで、工事の品質確保を図る。

【評価項目（新規）】

10年間の京都府発注で同種・同規模工事の企業としての施工実績	加算点
施工実績あり	0.5点
施工実績なし	0点

【実施時期】

令和4年11月から

企業の施工能力1（施工実績）（新たな評価項目の追加）

【考え方】

10年間の京都府発注工事における施工実績で、「同規模工事」の考え方は以下のとおりとする。

【考え方】

最終請負額

同規模工事	建築一式	電気	管
技術重視型	7,500万円以上	4,500万円以上	4,500万円以上
地域活性型 (A, B含む)	1,000万円以上	1,000万円以上	1,000万円以上
若手・女性型	1,000万円以上	1,000万円以上	1,000万円以上

企業の施工能力1（施工実績）（新たな評価項目の追加）

【考え方】

10年間の京都府発注工事における施工実績で、「同種工事」の考え方は以下のとおりとする。

【考え方】

同種工事		
建築一式工事 発注の場合	新営工事	同一の建物構造の実績
	執務並行改修工事	執務並行改修工事の実績
	全館無人改修工事	執務並行改修工事又は全館無人改修工事の実績
電気・管工事 発注の場合	執務並行改修工事	執務並行改修工事の実績
	全館無人改修工事	執務並行改修工事又は全館無人改修工事の実績

電気・管工事の発注の場合、新営工事として施工管理や品質管理に配慮する点が少ないため、施工実績を求める対象工事とはしない。

企業の施工能力2（工事成績）（新たな評価項目の追加）

【目的】

企業の工事成績を評価することで、品質確保を図る。

※ただし、配置予定技術者に工事成績を求めない型に限る。

【評価項目（新規）】

10年間の京都府発注で同種・同規模工事の企業としての工事成績	加算点
80点以上	0.5点
75点以上80点未満	0.4点
70点以上75点未満	0.3点
65点以上70点未満	0.2点
65点未満、実績なし又は調査基準価格未満の入札	0点

【実施時期】

令和4年11月から

企業の施工能力2（工事成績）（新たな評価項目の追加）

【考え方】

10年間の京都府発注工事における施工実績で、「同規模工事」の考え方は以下のとおりとする。

【考え方】

最終請負額

同規模工事	建築一式	電気	管
地域活性型B	1,000万円以上	—	—
若手・女性型	1,000万円以上	1,000万円以上	1,000万円以上

※配置予定技術者に工事成績を求めない型に限るため、技術重視型及び地域活性型（A含む）は対象としない。

企業の施工能力2（工事成績）（新たな評価項目の追加）

【考え方】

10年間の京都府発注工事における工事成績で、「同種工事」の考え方は以下のとおりとする。

【考え方】

同種工事	
建築一式工事発注の場合	建築一式工事の工事成績
電気工事発注の場合	電気工事の工事成績
管工事発注の場合	管工事の工事成績

働き方改革及び生産性向上への取組み1（新たな分類の追加）

【目的】

長時間労働の是正や処遇改善のための働き方改革への取組み、担い手不足解消のための生産性向上への取組みを評価する。

【評価項目（新規）】

週休2日工事の取組み	加算点
4週8休以上を実施する	1.0点
4週6休以上4週8休未満を実施する	0.5点
実施しない又は過去に加点されたが取り組まなかったもの	0点

情報通信技術活用の取組み	加算点
4つの活用項目を実施する	1.0点
2つ以上の活用項目を実施する	0.5点
実施しない又は過去に加点されたが取り組まなかったもの	0点

【実施時期】

令和4年11月から

働き方改革及び生産性向上への取組み2（新たな分類の追加）

【目的】

長時間労働の是正や処遇改善のための働き方改革への実績、
担い手不足解消のための生産性向上への実績を評価する。

【評価項目（新規）】

週休2日工事の実績	加算点
4週8休以上を実績あり	1.0点
4週6休以上4週8休未満を実績あり	0.5点
実績なし	0点

情報通信技術活用の実績	加算点
4つの活用項目を実施した実績あり	1.0点
2つ以上の活用項目を実施した実績あり	0.5点
実績なし	0点

【実施時期】

令和5年11月から

生産性向上への取組み（新たな分類の追加）

【4つの活用項目】

情報通信技術の活用における4つの活用項目とは、以下の①～④を指す。

【活用項目】

- ①情報共有システムの活用
- ②工事写真の小黑板電子化
- ③定例会議等におけるWeb会議の活用
- ④建設現場の遠隔臨場

情報共有システム

- 施工計画書等を情報共有システムを利用して作成や提出することで、情報共有の促進のほか、決裁処理等の効率化も確認



情報共有システム(ASP)操作画面

電子小黑板

- 撮影時の省力化のほか、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止等の効果を確認



国土交通省
HPより



受発注者の作業効率化
契約の適正な履行としての施工履歴の
管理の実施

建設現場の遠隔臨場

地域調達・雇用（CCUSの取組み（新たな分類の追加））

【目的】

CCUS（建設キャリアアップシステム）に取組むことで、技能者の処遇の改善や適正な評価を図り、将来の担い手を育成する。

【評価項目（新規）】

CCUSの活用	加算点
CCUSへの事業者登録及び活用	1.0点
CCUSへの事業者登録なし	0点

【実施時期】

令和4年11月から

実施時期

	令和4年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
若手・女性技術者配置型									→				
企業の施工能力1 同種・同規模工事の施工実績									→				
企業の施工能力2 同種・同規模工事の工事成績									→				
働き方改革・生産性向上 週休2日・情報通信技術の取組									→				
働き方改革・生産性向上 週休2日・情報通信技術の実績									令和5年11月から実施				
地域調達・雇用 CCUSの登録・活用									→				

対象工事

型	対象工事
若手・女性技術者配置型	小規模工事（難易度が低いもの）かつ 技術者に施工経験を要しない工事

評価項目	対象工事
企業の施工実績1 同種・同規模工事の施工実績	建築一式工事の場合 新営工事及び改修工事 電気・管工事の場合 改修工事
企業の施工実績2 同種・同規模工事の工事成績	全ての工事（選択）
働き方改革への取組み 週休2日工事の取組・実績	災害復旧等の緊急を要する工事以外
生産性向上への取組み 情報通信技術の取組・実績	全ての工事（選択）
地域調達・雇用 CCUSの登録及び活用	全ての工事（選択）